

学校概要

創立 30 周年	学校長 福田 之男	副校長 鬼丸 玲子	学期 3 学期制	児童・生徒数 329 人
学級数 一般級: 9 個別支援級: 3		主な関係校: 高田小学校 高田東小学校		

学校教育目標

学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成) 子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。

- * 自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知)
- * 生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体)
- * とともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)

学校の特徴

- 学校周辺には農地があり、その周囲に住宅が広がり、自然環境に恵まれ他地域である。
- 小中12人会議、90人会議、校長のランチミーティングなどを実施することにより、小中の連携が密である。
- 平成29年度より小学校併設型中学校に指定されている。
- 年齢層は若いのが、生徒や保護者に寄り添った対応ができる職員が多い。
- 地域全体で学校を守り発展させようと、PTAを中心に、学校に対して協力的である。
- 生徒は学習への関心や意欲があり、真面目に取り組むが、自信のない生徒が多い。

学校経営中期取組目標

- ・「総合的でバランスのとれた学校づくり」の実現に向け、教職員相互が啓発・連携し合い学校経営への参加意欲を高めるとともに、組織的・効率的な学校運営に努めます。
- ・生徒一人ひとりが学力の向上を実感でき、価値ある生き方を求めて自己変革していくことを支援するため、教職員の研修を充実し、共通理解を深め理解力・指導力の向上につなげます。
- ・開かれた学校づくりを一層推進し、学校・家庭・地域との連携・協働による学校づくりを進めます。

小中一貫教育の取組

5高田中学校ブロック・ブロック : 高田中学校 高田小学校 高田東小学校

9年間で育てる子ども像	自ら学び、考え、表現することのできることも
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を活用し、情報収集を行い、考えたことを表現する力を育成する。 ・ICT機器を活用し、生徒の学びへの興味・関心を喚起する。 ・各教科の指導において言語活動の場を単元や単元時間の中で設定し、随時適切な評価を行う。 ・年間2回情報交換のための研究授業を実施する。 ・小学校と連携し、併設型小・中学校の特色を生かし9年間を見通したカリキュラムの編成を行う。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 担当	基本的な学習態度の習慣化を図る指導とともに、言語活動の場を授業に設定することにより、思考・判断・表現の力を育む。	・全国や市の学習状況調査の結果について各教科で分析し、教科会や研修会等で本校の課題を明確にし、授業を工夫する。 ・各教科において、表現力の育成を目指した言語活動を取り入れた授業公開を行い、実践集にまとめる。
豊かな心 担当 道徳・図書	全教育活動で道徳・人権教育を推進し、互いの違いを認め合い、自らの生き方を切り拓き、共に安心して学校生活を送れる生徒を育成する。	・生徒にとって自分ごととなるような道徳の授業を目指して、教職員で研修する。 ・人権作文に生徒が全員が取り組み、道徳の授業で発表するなど、お互いの考えや思いを共有することで人権意識を高める。
健やかな体 担当 保健安全美化指導部 体育科	自らの心や体の状態を把握し、安全面に留意し、運動の意義や効果について関心と理解を深め、体力向上・運動習慣の改善を自ら目指す生徒を育成する。	・日々の健康観察、健康診断、健康相談活動から健康状態を把握し、調和のとれた生活を続けるための支援を行う。 ・体カテストをもとに自分自身の体力を知り、安全に留意しながら体力向上のための持続的な運動を行うよう助言する。
生徒指導 担当 生徒指導部	生徒・保護者との信頼関係を深め、生徒理解につなげ、基本的な生活習慣の確立を目指し、共通理解・情報の共有化をすすめる。規範意識の指導に努める。	・YPアセスメントを活用し、生徒理解を深めることで学級活動の充実を図り、基本的な生活習慣の確立や規範意識を育てる。 ・生徒指導研修を充実させることで、全職員の共通理解・情報の共有化を図り、生徒一人ひとりの心情に寄り添った相談活動を行い、生徒・保護者との信頼関係を深める。
教育課程 担当 教育課程	併設型小・中学校として、新学習指導要領の趣旨に沿った9年間を見通した柔軟な教育課程について、小学校と連携しながら研究を進める。	・小学校併設型中学校として、小学校と連携して9年間で育てる子ども像を明確にし、全教職員での共有を徹底する。 ・新学習指導要領の趣旨理解を全教職員で行えるよう研修を実施する。
特別支援教育 担当 特別支援教育 個別支援学級	特別な支援を要する生徒について教職員の共通理解を図り、家庭との連携を深め、学校生活の様々な場面で、個々の特性や状態に応じた指導に努める。	・一般学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒の「個別の支援計画」および「個別の導計画」の作成について研修会を開き、特に通級指導学級に通う生徒の作成に繋げる。 ・個別支援学級の生徒個々の特性や課題を把握し、卒業後の姿を見据えながら、一人ひとりにあった支援・指導を行う。
学校運営協議会・地域連携 担当 専任 教務主任 学年主任	教育活動について積極的に発信し、保護者や地域住民からの理解と信頼を高めるとともに、地域と連携・協力を密にし、生徒の地域での活動を進める。	・小学校との合同学校運営協議会で9年間で育てる子ども像を策定する。 ・地域コーディネーターと協働して、学習支援の取組を行う。 ・生徒が地域活動へ参加できるように、活動の情報発信や参加を促す取組を行う。 ・学校だよりやホームページをさらに活用し、情報発信に努める。
人材育成・組織運営 担当 管理職 主幹教諭	人材育成の視点を重視した組織編成を進め、若手職員、中堅職員を組織のリーダーとして起用し、更なる組織の活性化を図る。	・自己観察書を記入する際に、キャリアステージに応じた目標設定ができるような資料を準備し、職員全体で人材育成に取り組むという意識を一層もてるようにする。 ・学年会・指導部会でのOJTを計画的に行う。 ・メンターチームによる研修を年間3回以上実施する。
いじめへの対応 担当 管理職 専任 生徒指導部	全ての生徒が、安心して過ごせる環境をつくるために、生徒一人ひとりの心情に寄り添った生徒理解と生徒指導の充実を図る。	・定期的な教育相談活動や生活アンケートを行うことで、生徒の心身の変化を細かくとらえる。 ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けて、いじめ防止対策委員会を中心に指導体制をつくり、いじめ防止基本方針の点検と見直しを毎年度行う。